

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所 自由民主党本部

郵便番号100-8010

東京都千代田区永田町1-1-23

電話 東京03(3381)6211(代表) 郵特1部 東京03(3)19529

定線1部10579(転送) (報道関係日発行)

ホームページ <http://www.jimin.or.jp/>

●自由民主党愛知県支部連合会

郵便番号460-0002 名古屋市中区丸の内3-4-10

電話 052(953)7473(代表)

R100

党员拡張版 入党促進運動展開中

自民党は党员を募集しています



美しい国、日本。

私たちの98日本は、美しい自然に恵まれた長い歴史と文化を持つ国です。その豊かな誇りを胸に、新しい国路に向けて力強く歩み出す時がきました。私たちが求めてきた改革の風を都心から日本を活力とチャンスと輝きに満ちあふれた。そして世界に開かれた国にしていくではありませんか。

来たる平成19年4月には地方統一選挙が執行されます。

自民党は名古屋の議会熱田区選挙区に中央でも非常に評価の高い工藤彰三さんをお選出の意を固めています。

工藤彰三さんと共に、アと私たちの世代が自信と誇りを持って「美しい国、日本」とするために全力を尽くすことをお約束します。

自民党総裁 **安倍晋三**

いま 次代の為に、現在動く！ 工藤彰三さん

くどう しょうぞう

名古屋市会議員として工藤彰三さんの 新たな約束を紹介します。

分かる授業・楽しい学校

分かる授業、楽しい学校の実現を目指します。子供の教育は大人の責任です。

安心して遊べる地域環境

子供たちが安心して遊べる地域環境を整備します。子供は皆さんの宝です。

工藤彰三さん
からのお願い

こどもたちの下校時に、できるだけ散歩や買い物で家の外に出ていただく様、お願いいたします。買い物、散歩、用事のついでに通学路をご利用ください。

地域で子供を育てる活動を積極的に支援します。子供達の笑顔は、まちを明るくします。

女性の声をもっと政治に

“働くお母さん”子育て支援をはじめ、市政・まちづくりに女性の声と力を活かします。

防犯・防災行動力の向上

犯罪や災害に強い安全なまちづくりのため、地域における犯罪・防災行動力の向上を進めます。災害対策の原点は「自助・共助」。被害が想定内におさまればまだしも、想定外に及ぶからこそ、大きな被害がおきます。最悪のことは、起こり得るのです。

地域のふれあい

文化とスポーツで地域のふれあいを大切にします。いざという時のコミュニティーがいかに大切なものか。普段から人と人との交流・ふれあいが、安心・安全で快適なまちづくりにつながると考えます。

市民の台所整備

市民の台所、中央卸売市場を整備します。

安心な老後・もっと福祉を

誰もが安心して老後を過ごせる社会。
ゆとりと生きがいのある福祉社会と老後の不安の解消をめざします。



工藤彰三さん プロフィール

■ 主な経歴

東京オリンピックの年 昭和39年12月8日熱田に生まれる
名古屋市立船方小学校 卒業
東海中学校・高校卒業 高校時代は、硬式野球部で活躍
中央大学商学部会計学科 卒業

■ 過去職

昭和51年8月～平成8年10月 衆議院議員 秘書
平成4年12月～平成5年7月 自治政務次官 秘書
平成8年11月～平成15年3月 名古屋市議員 秘書
平成13年4月～ 自民党熱田区青年局長

■ 現職

平成15年4月～ 名古屋市議員
平成15年 自民党熱田区支部 支部長
平成15年5月～平成16年4月 名古屋市議会 健康福祉委員会 委員
平成15年5月～平成16年4月 名古屋市議会 環境生活総務特別委員会 委員
平成16年5月～平成17年4月 名古屋市議会 土木交通委員会 委員
平成16年5月～平成17年4月 名古屋市議会 運輸対策特別委員会 副委員長
平成17年5月～平成18年4月 名古屋市議会 財政教育委員会 副委員長
平成17年5月～平成18年4月 名古屋市議会 21世紀まちづくり特別委員会 委員
平成18年5月 名古屋市議会 土木交通委員会 副委員長
平成18年5月 名古屋市議会 安心・安全まちづくり特別委員会 副委員長
平成17年5月 名古屋市議会 議員連帯委員会 委員

www.kudo-shozo.com



(厚生太郎外務大臣と会談)

名古屋市議会きっての政策クリエイター

マニフェスト

Manifesto

1. 市政運営システムの改革

- 市議会政務調査費執行の透明化を図ります。
(政務費の使途のルールを定めた「政務調査費に関する取り扱い要綱」を制定するとともに、5万円以上の領収書の公表をおこないます。)
- 外郭団体を半減させ、税金の無駄遣いを見直します。
(公共事業と収益事業の明確化を進め、外郭団体の設立趣旨の再確認を図る中で、公益法人22団体を半減します。)
- ネーミングライツを導入し、年間5億円の歳入を目指します。
ネーミングライツ(施設命名権)・駅名板下広告などの売却により年間5億円の資産の有効活用を図ります。

2. 都市のあり方

- 300万都市に向けての議論を活発化させます。
地方分権改革推進法が議論されていますが、この動向を見ながら、道州制の導入にあわせ、都市間の垣根を取り払いつつ、300万都市の実現に向けて議論を活発化させます。

3. 医療・福祉

- 小学校6年生までの乳幼児・児童の医療費の無料化をおこないます。
現在、本市では入院費については小学校3年生まで、通院費については小学校就学前まで無料化を実施していますが、これをさらに拡大します。
- 障害者自立支援施策を見直し、一部負担制度の軽減を図ります。
(障害者自立支援法の見直しを国に働きかけるとともに、本市においても軽減をおこないます。)
- 歌モノバスを堅持します。65歳交付制度を守ります。
- 高齢者の健康づくり公園を新規10か所整備します。(ラジオ放送施設・健康遊具など)
- 地下鉄全駅にエレベーターを設置します。
(現在72駅に設置されていますが、87駅全駅に設置します。)

4. 安心・安全

- 青(色)交番を設置します。
地域の安全対策のため、廃止となる交番を青(色)交番として再生します。
- 全小学校に、地震対策用防災倉庫を設置します。
- 浸水対策を実施します。(雨水貯留管・雨水流下管など、浸水対策を今後4年間で完了します。)

5. 環境・快適

- 家庭系生ごみのうち3200トン(2%)の有効活用を図ります。
(現在、16万トンといわれている家庭系生ごみの有効活用率は0.46%ですが、およそ4倍に拡大します。)
- 駐輪場を新たに30か所整備します。
- 食育の推進を図ります。(市民農園を市内で5000区画整備します。)
- 学校給食における地産・地消の割合を30%に引き上げます。
- 第10回生物多様性条約締約国会議(COP10)を誘致します。

6. 教育

- (小・中・高) 学校週6日制を試行実施します。
(現在、学校では学校週5日制となっていますが、基礎的な学力の更なる定着化のため、土曜日も授業をおこないます。)
- (小・中・高) 学校の冷房化に向けた整備指針を策定します。
(年々暑くなる夏場の教育環境改善のため、教室の冷房化に向けた整備指針を策定します。)
- 夏休みを短縮します。
(夏休みを10日程度短縮します。)
- 児童生徒の評価を適切に行い、保護者の方々にお知らせします。
(お子様の学習習熟状況を測定し、保護者の方々に対し、お子様のいいところ、課題となっているところをタイムリーにお伝えする仕組みをつくります。)
- 体育専科教師制度を導入します。
(年々低下する子どもの体力づくりや部活動の振興のため、体育専科教師制度を試行的に導入します。)

■ なお、上記マニフェストはすべての取り組みを網羅したものではありません。
※4年後、外部評価員により進捗状況の評価を行い公表します。



自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC

